

久慈市復興事業記録集

～新たな視点による 新たなまちづくり～



平成 30 年 3 月 現在

久慈市

目次

- 「生活を再建する」
 - 漁業集落防災機能強化事業 1
 - 災害公営住宅整備事業 3

- 「水産業を復興する」
 - 水産業共同利用施設復興整備事業(水産加工流通施設整備) 5
 - 水産業共同利用施設復興整備事業(地魚直販施設整備) 7
 - 漁港環境向上施設整備事業 8
 - 農用地災害復旧関連区画整理事業 10

- 「交流人口を拡大する」
 - 舟渡海水浴場環境整備事業 11
 - 小袖海女センター建設事業 12
 - 地下水族科学館もぐらんぴあ整備関連事業 13

- 「災害に強いまちづくりを進める」
 - 津波避難施設整備事業 15
 - 避難路整備事業 18
 - 避難道路整備事業 20
 - 久慈湊海岸防潮堤災害復旧事業 26
 - 小袖海岸防潮堤災害復旧事業 27
 - 久慈港諏訪下防潮堤(県事業) 28
 - 久喜防潮堤(県事業) 29
 - 久慈川河川堤防(県事業) 30
 - 夏井川河川堤防(県事業) 31
 - 県道野田長内線道路改築(県事業) 32

- 「再生可能エネルギー等に取り組む」
 - 大規模太陽光発電施設整備(民間事業) 33

はじめに

平成 23 年 3 月 11 日、14 時 46 分頃、三陸沖を震源とした国内観測史上最大規模となるマグニチュード 9.0 の巨大地震が発生し、東北地方から関東地方に及ぶ広い範囲で、長く強い揺れを観測しました。

また、太平洋沿岸を中心に大きな津波を観測し、特に東北地方から関東地方の太平洋沿岸では大きな被害がありました。本市においても 8.6m、遡上高では 27m 程度の津波となり、住宅や工場などが甚大な被害を受けたところがあります。

この未曾有の大震災から 1 日も早い復興を目指すべく、当市では各種復興事業に全力で取り組んでいるところです。

本誌は、主な復興事業の進捗状況を視覚的にも分かりやすくするため、各事業ごとに工事の経過を画像集としてまとめたものです。

事業名	漁業集落防災機能強化事業
------------	---------------------

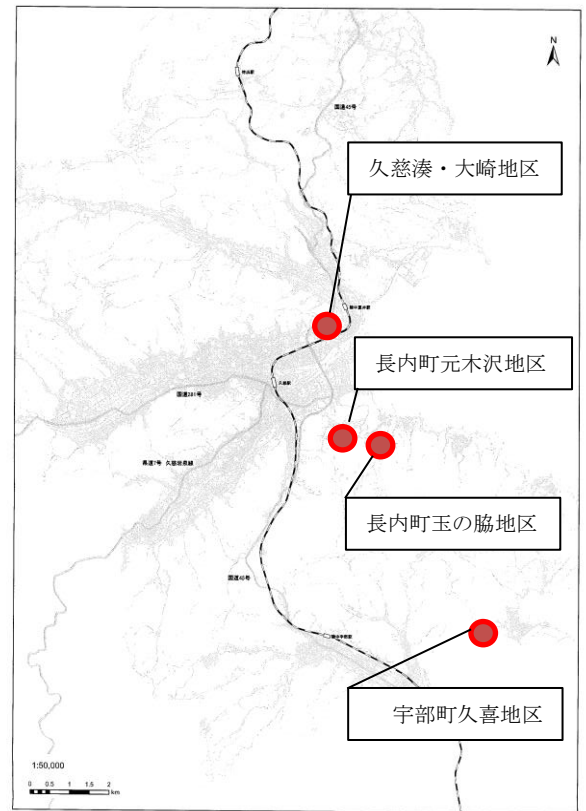
1. 事業目的

被災した漁業集落の防災機能強化を図るため、浸水地域の被災者の浸水域外への移転を進める。そのための、移転先の用地造成、防災施設の整備を行う。

【内容】

- ・ 移転先の用地造成 (4 地区)
- ・ 移転跡地活用のための被災土地の買取 (4 地区)
- ・ 海岸施設の管理用道路の安全対策 (久慈湊・大崎地区)
- ・ 管理用道路への取り付け道路 (久慈湊・大崎地区)

2. 事業位置図



3. 事業概要

地区名	地区概要等	事業費 (千円)	工事期間	
			着手	完了
久慈湊・大崎地区	久慈湊・夏井地区は、海岸付近まで住宅が密集している地区であり、東日本大震災の津波により、多くの住宅が甚大な被害を受けたため、浸水域外への団地造成を実施した。	271,602 (実績)	H25.5	H26.3
長内町元木沢地区	元木沢地区は、東日本大震災の津波により、広い範囲にわたり多くの家屋が被害を受けた地区である。臨海地域であり、移転を希望する声もあることから、地区内に移転先を確保し、より快適で安全な団地を形成した。	110,271 (実績)	H25.5	H25.11
長内町玉の脇地区	玉の脇地区は、東日本大震災の津波により壊滅的な被害を受けた地区である。仮設住宅での生活を余儀なくされている被災者もあったため、移転事業を早急に進め、早期の団地造成を実施した。	60,981 (実績)	H25.3	H25.11
宇部町久喜地区	久喜地区は、東日本大震災の津波により壊滅的な被害を受けた地区である。同地区は平地が少なく、移転先も限られた場所ではしか確保できない状況であったが、地域住民からの理解を得られ、団地造成を実施した。	58,140 (実績)	H25.3	H25.8

4. 各地区における事業の経過状況

(1) 久慈湊・大崎地区



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

(2) 長内町元木沢地区



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

(3) 長内町玉の脇地区



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

(4) 宇部町久喜地区



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

事業名	災害公営住宅整備事業
------------	-------------------

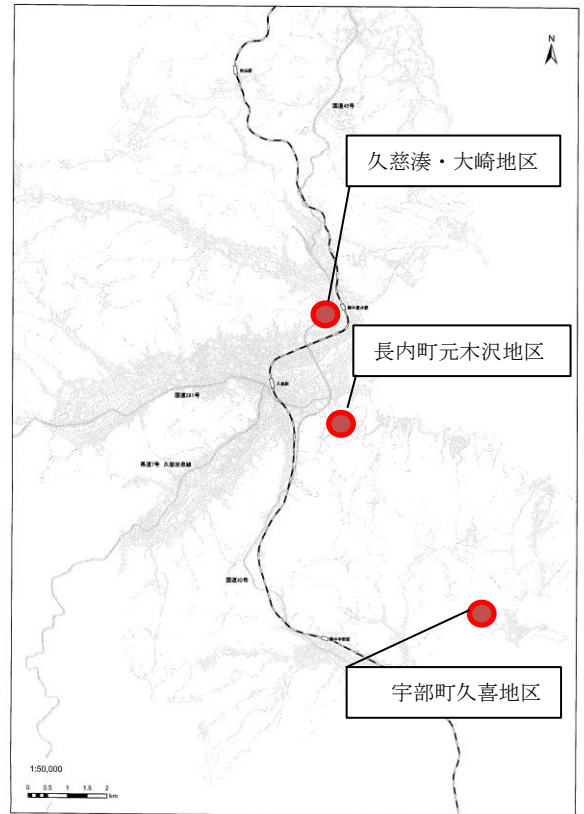
1. 事業目的

津波により著しい被害を受けた次の地区について、集団移転と併せて、災害公営住宅を建設するもの。

【内容】

- 久慈湊・大崎地区
災害公営住宅の建設（木造、5戸）
上記に伴う設計業務、工事監理業務、建物に付帯する外構工事
- 長内町元木沢地区
災害公営住宅の建設（木造、3戸）
上記に伴う設計業務、工事監理業務、建物に付帯する外構工事
- 宇部町久喜地区
災害公営住宅の建設（木造、3戸）
上記に伴う設計業務、工事監理業務、建物に付帯する外構工事

2. 事業位置図



3. 事業概要

地区名	地区概要等	事業費 (千円)	工事期間	
			着手	完了
久慈湊・大崎地区	津波により著しい被害を受けた久慈湊・大崎地区については、半壊以上が109棟、内、全壊が34棟の被害を受けた。このことから、山沿いの造成した場所に災害公営住宅を建設するものである。	82,793 (実績)	H25.11	H26.3
長内町元木沢地区	津波により著しい被害を受けた元木沢地区については、半壊以上が104棟、内、全壊が4棟の被害を受けた。このことから、山沿いの造成した場所に災害公営住宅を建設するものである。	54,613 (実績)	H25.11	H26.3
宇部町久喜地区	津波により著しい被害を受けた久喜地区については、半壊以上が27棟以上、内、全壊が13棟の被害を受けた。このことから、高台の造成した場所に災害公営住宅を建設するものである。	51,935 (実績)	H25.8	H25.12

4. 各地区における事業の経過状況

(1) 久慈湊・大崎地区



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

(2) 長内町元木沢地区



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

(3) 宇部町久喜地区



(事業着工前)



(事業途中)



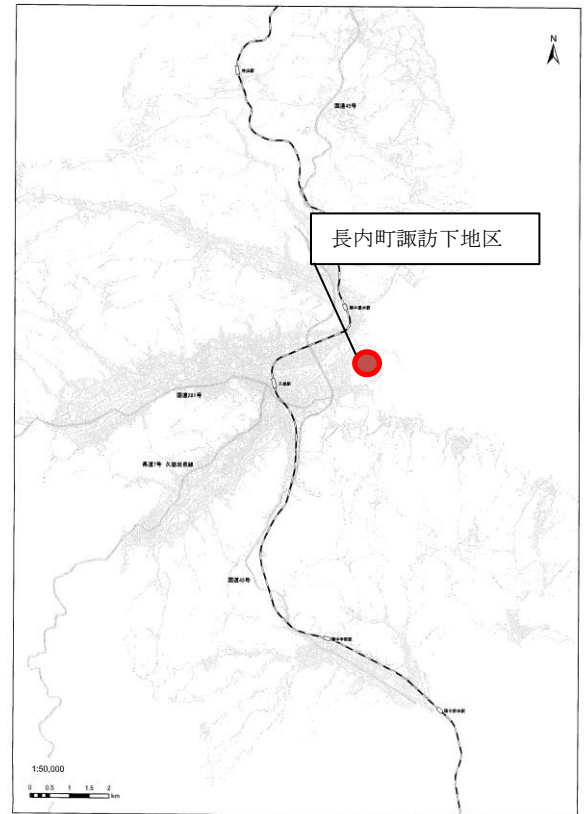
(事業完了)

事業名	水産業共同利用施設復興整備事業（水産加工流通施設整備）
------------	------------------------------------

1. 事業目的

津波により壊滅的な被害を受けた水産加工施設の雇用の場を回復するとともに、食料の安定供給に努め、水産業の復興を図るための水産加工施設の整備を行う者に対し支援を行う。

2. 事業位置図



3. 事業概要

支援先	概要等	総事業費 (千円)	工事期間	
			着手	完了
八戸缶詰株式会社	整備内容：冷蔵庫（1,000t）、加工工場、カッター等 能力：レトルト商品等製造 923t/年 生産商品：煮魚、スモークサーモン、フライ等	550,000 ※うち 68,750 は事業者負担	H24.7	H25.3
株式会社 マルサ嵯峨 商店	整備内容：水産加工施設、排水処理施設 生産商品：鮭、イカ、サバ等生鮮食品	106,520 ※うち 13,316 は事業者負担	H25.9	H26.3
	整備内容：製氷施設（3.5t/日）	26,000 ※うち 3,250 は事業者負担	H27.7	H27.10
株式会社 丸才	整備内容：鮮度保持・加工処理施設（冷凍保管庫、凍結庫、製氷設備、フィレマシーン等） 生産商品：タラの切り身等	500,000 ※うち 62,502 は事業者負担	H27.9	H28.6

4. 支援先の事業の経過状況

(1) 八戸缶詰株式会社



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

(2) 株式会社マルサ嗟峨商店



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

(3) 株式会社丸才



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

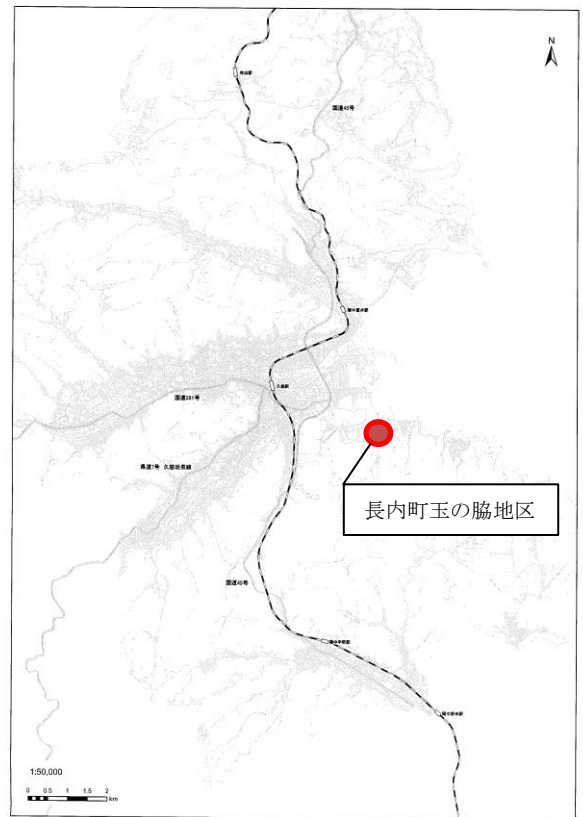
事業名	水産業共同利用施設復興整備事業（地魚直販施設整備）
------------	----------------------------------

1. 事業目的

津波により全壊した久慈市漁協二子漁業生産部の漁業施設は、都市圏の学生が毎年5千人以上が参加する「体験型教育旅行」の漁業体験の受入れ先として重要な施設であり、また、当生産部独自で年数回、地元海産物を低価格で提供してきた「朝市」の開催場所として地域経済の活性化及び地域コミュニティの活発化にも大きく貢献してきた重要な施設でもあり、更なる交流人口の拡大及び地域経済等の活性化のために必要な施設である。

具体的に、これまでの活動を継続していただくとともに、一般客の集客拡大のための新たな取り組みを行う拠点施設となる地魚直売施設を整備する者に対し、市が公募により支援を行う。

2. 事業位置図



3. 事業概要

支援先	概要等	総事業費 (千円)	工事期間	
			着手	完了
久慈市 漁業協同組合	整備内容：木造平屋建の直販施設の整備 屋外トイレの整備	22,120 ※うち 2,766 事業者負担	H24. 6	H25. 3

4. 支援先の事業の経過状況

久慈市漁業協同組合



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

事業名	漁港環境向上施設整備事業
------------	---------------------

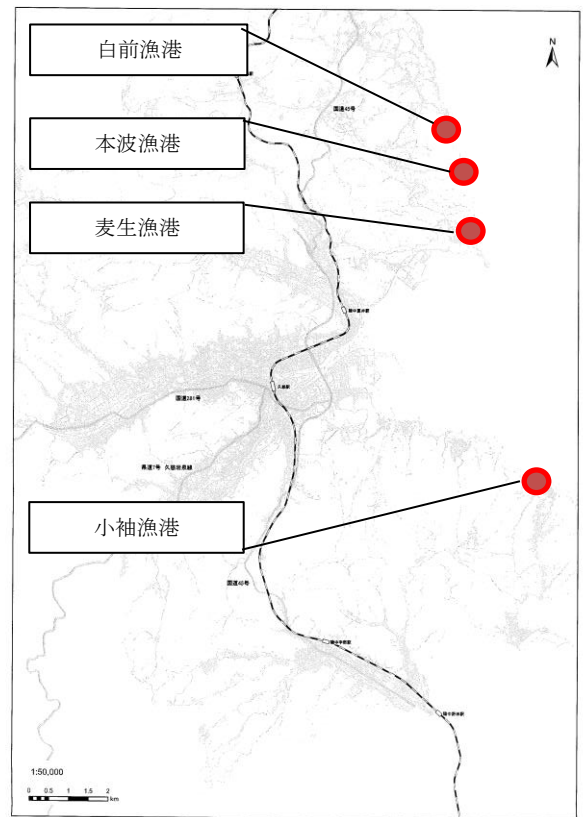
1. 事業目的

東日本大震災の津波により漁船・漁具倉庫等に壊滅的な被害を受けた次の地区の良好な漁場の維持と安全で効率的な水揚げ作業を行うために本事業により環境向上施設を整備するもの。

【内容】

- 麦生漁港
 - (1) 便所 1 基 (床面積 6.8 m², 男子 1, 女子 (多目的) 大 1)
 - (2) 護岸 (嵩上げ改良波返し設置)
L=30m、波返し設置高さH=路面+1.0m
- 白前漁港
 - (1) 白前地区
便所 1 基 (床面積 6.8 m², 男子 1, 女子 (多目的) 大 1)
 - (2) 本波地区
便所 1 基 (床面積 6.8 m², 男子 1, 女子 (多目的) 大 1)
- 小袖漁港
 - (1) 便所 1 基 (床面積 6.8 m², 男子 1, 女子 (多目的) 大 1)
 - (2) 物揚場 (車止め改良) L=160m

2. 事業位置図



3. 事業概要

地区名	地区概要等	事業費 (千円)	工事期間	
			着手	完了
麦生漁港	東日本大震災の津波により漁船・漁具倉庫等に壊滅的な被害を受けた麦生地区の良好な漁場を維持するために本事業によりトイレ及び護岸整備を行った。	17,054 (実績)	H25.3	H25.7
白前漁港	東日本大震災の津波により漁船・漁具倉庫等に壊滅的な被害を受けた白前地区の良好な漁場を維持するために本事業によりトイレの整備を行った。	10,065 (実績)	H25.8	H25.11
小袖漁港	東日本大震災の津波により漁船・漁具倉庫等に壊滅的な被害を受けた小袖地区の良好な漁場の維持と安全で効率的な水揚げ作業を行うために本事業によりトイレ及び物揚場 (車止め改良) の整備を行った。	20,495 (実績)	H24.8	H25.7

4. 各地区における事業の経過状況

(1) 麦生漁港



(2) 白前漁港



(3) 本波漁港



(4) 小袖漁港



事業名	農用地災害復旧関連区画整理事業（農地整備事業）
------------	--------------------------------

1. 事業目的

東日本大震災の影響により宇部川地区の農地 53ha のうち約 17ha が津波被災するとともに、最大で 20cm 程度の地盤沈下が生じ、これによって排水不良や地下水位が高く湿田化している状況である。

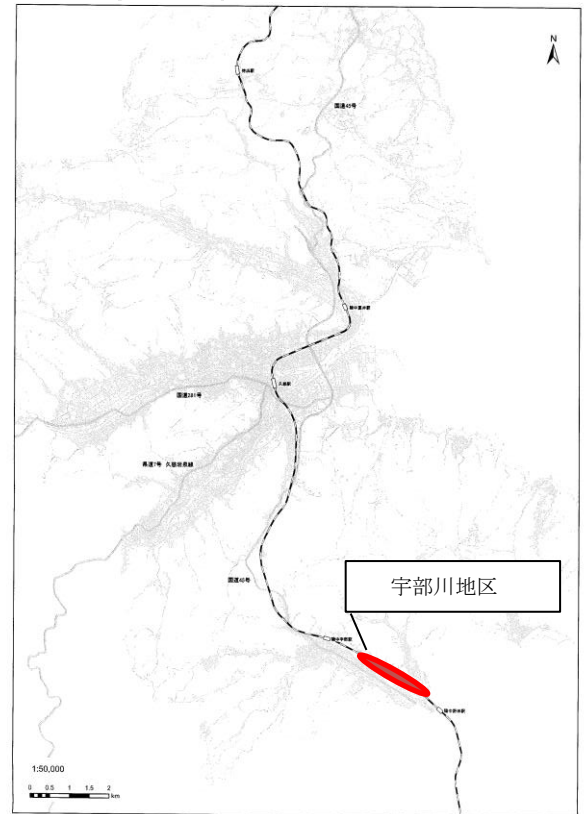
このため、津波被災農地 17ha を含む 53ha を単なる原形復旧・整備ではなく、大区画化により農地の集約、経営の大規模化を行い、収益性の高い農業経営の実現を目指すものである。

また、整備コストを考慮した排水改良（暗渠排水等）と大区画化を一体的に行い、規模拡大を志向する農家を中心に被災者の「なりわい」を再生し、地域農業の復興を図ろうとするものである。

事業面積 32.2ha

※野田村分と合わせた全体事業量は 53ha

2. 事業位置図




3. 事業概要

地区名	概要等	事業費 (千円)	工事期間	
			着手	完了
宇部川地区	換地計画、実施設計、区画整理、頭首工、ため池、暗渠排水工事	1,009,100 (配分額)	H26.3	H31.3 (予定)


4. 事業の経過状況

宇部川地区ほ場整備




(野田村 浸水被災後)

(事業着工前)



(事業途中)



(区画整理工事完了)

事業名	舟渡海水浴場環境整備事業
------------	---------------------

1. 事業目的

舟渡海水浴場は市内唯一の海水浴場として久慈市民はもとより、県内陸部の方々にも多く利用されていた。

東日本大震災の津波によって海水浴場の施設は流出したうえ、砂浜には瓦礫等が散乱し、平成 23 年夏の海開きを行うことは難しい状況にあった。

しかし、地元漁業者を中心とした清掃活動が熱心に行われたことから、市では仮設テントによる更衣室や仮設トイレを設置し、福島宮城岩手の 3 県で唯一海開きを行った。

平成 23 年の舟渡海水浴場利用者は前年に比べ半減したが、前述の地域をあげた取り組みが各種メディアに取り上げられ、海に関わる多くの人に復興への勇気を与えたものとする。また、11 月には、地元漁業者の協力による地域活性化イベント「サーモンフィッシング」が開催され、多くの釣り愛好者が訪れた。本事業は、被災した舟渡海水浴場の機能を回復させることによって地域内外の交流拠点として整備し、交流人口の増加と、さらなる地域の活性化を図るものである。

2. 事業位置図



3. 事業概要

地区名	整備概要等	事業費 (千円)	工事期間	
			着手	完了
長内町 二子地区	津波の被害を受けた市内唯一の海水浴場である「舟渡海水浴場」の環境整備を行う。 ○舟渡レストハウスの改修（木造平屋建） ○公衆トイレ建て替え	46,015 (実績)	H25. 2	H26. 3

4. 事業の経過状況

舟渡レストハウス



事業名	小袖海女センター建設事業
------------	---------------------

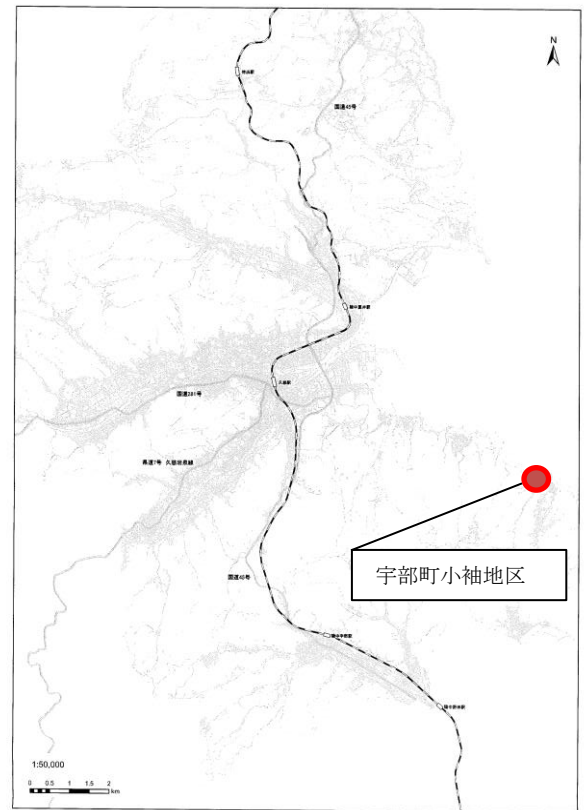
1. 事業目的

東日本大震災の津波により被災した小袖地区の漁村の復興を図るため、交流人口の拡大が強く望まれている。

小袖地区地魚直販施設の建設により、地元で獲れた新鮮で良質な魚介類の提供する場を設け、交流人口を増加させ、漁村・漁業の活性化に取り組み、水産業の復興につなげる。

また、小袖海女センターとしての機能を兼ね備えることにより、現役の海女や漁師、あるいは、かつて海女や漁師として活躍してきた高齢者の方々などから、「北限の海女」として有名な本市の海女業について学ぶことができ、失われつつある海女業の技能者の育成や確保にもつなげる。

2. 事業位置図



3. 事業概要

地区名	施設概要等	事業費 (千円)	工事期間	
			着手	完了
宇部町 小袖地区	施設規模：RC造3階建て 264.44㎡（屋上を含む） 建設場所は津波により流出した旧小袖海女センターの跡地を利用し、RC造とすることによって津波に耐える構造とする。	161,627 (実績)	H26.4	H26.12

4. 事業の経過状況

小袖海女センター



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

事業名	地下水族科学館もぐらんぴあ整備関連事業
------------	----------------------------

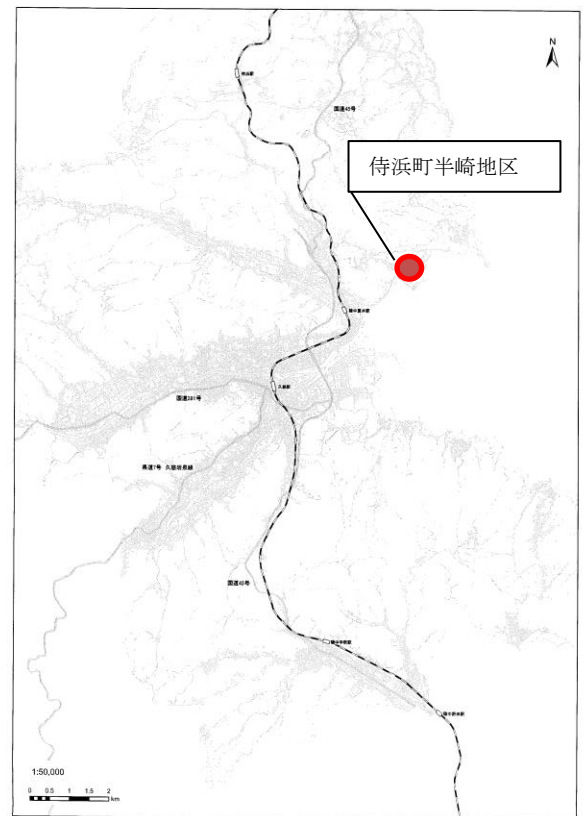
1. 事業目的

東日本大震災による津波により、地下水族科学館もぐらんぴあや隣接する産直施設は全壊、流出という被害を受けた。また、同じ半崎地区にあった久慈国家石油備蓄基地や、北日本造船久慈工場も壊滅的な被害を受けたところである。

しかし、同地区においては、再生可能エネルギーの活用・供給拠点を整備する構想があるほか、湾口防波堤の整備によって久慈湾の静穏域が確保されれば、多くの船舶の入港が予想され、養殖漁業やマリンスポーツの拠点的な区域となり、市の内外から多くの方が訪れる場所となる。

このような、甚大な津波被害を受けつつも様々な人が集まる地区において、津波の恐ろしさや復興までの過程などを地域内外の方、及び後世に伝える必要があり、復興の拠点となる施設を整備する。

2. 事業位置図



3. 事業概要

地区名	施設概要等	事業費 (千円)	工事期間	
			着手	完了
侍浜町 半崎地区	地下水族科学館もぐらんぴあ管理棟の復旧 施設規模：RC造5階建 延べ床面積1,485.89㎡ 事業費内訳： ○文科省災害復旧事業（3フロア分）：621,282千円 ※水族館部分の復旧を含む ○復興交付金事業：369,350千円 【内訳】 産直施設（1フロア分）整備：117,631千円 防災教育施設（1フロア分）整備：99,647千円 防災教育施設展示物整備：52,500千円 大型水槽の整備：99,572千円	990,632 (配分額)	H26.9	H28.2

4. 事業の経過状況

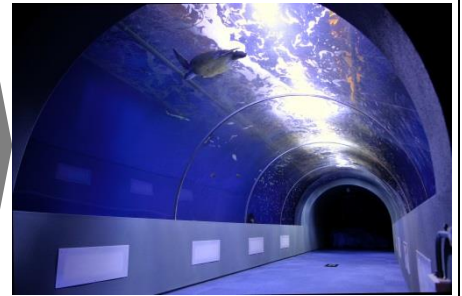
(1) 地下水族科学館もぐらんぴあ地下トンネル



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

(2) 地下水族科学館もぐらんぴあ管理棟



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

事業名	津波避難施設整備事業
------------	-------------------

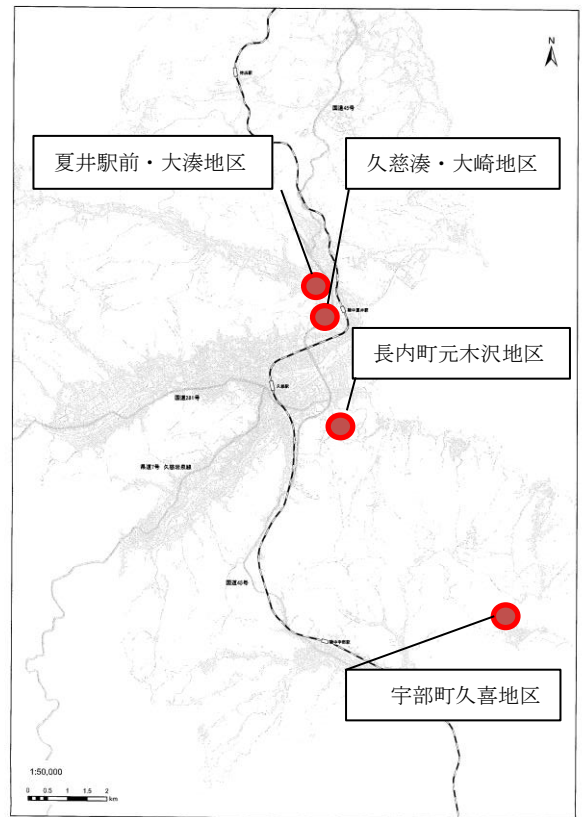
1. 事業目的

津波により甚大な被害を受けた次の地区の活動拠点となる避難施設の整備を行う。

【内容】

- 夏井駅前・大湊地区
津波避難施設 1 棟の建設（木造平屋 約 200 m²）
- 久慈湊・大崎地区
津波避難施設 1 棟の建設（木造平屋 約 200 m²）
津波避難タワー 1 棟の建設
- 長内町元木沢地区
津波避難施設 1 棟の建設（木造平屋 約 200 m²）
- 宇部町久喜地区
津波避難施設 1 棟の建設（木造平屋 約 200 m²）

2. 事業位置図



3. 事業概要

地区名	地区概要等	事業費 (千円)	工事期間	
			着手	完了
夏井駅前・大湊地区	東日本大震災津波により甚大な被害を受けた夏井駅前・大湊地区の活動拠点となる避難施設の確保を図り、住民等の生命及び身体を保護することができる。	85,892 (実績)	H26.3	H26.10
久慈湊・大崎地区	久慈湊・大崎地区は津波による家屋被害が最も多かった地区であり、津波襲来時に逃げ遅れた住民の避難先として、今回の浸水区域内かつ小学生の登下校のルート上に避難タワーを整備するとともに、集団移転先に避難所を整備する。	220,643 (実績)	H26.3	H28.11
長内町元木沢地区	東日本大震災津波により甚大な被害を受けた元木沢地区の活動拠点となる避難施設の確保を図り、住民等の生命及び身体を保護することができる。	60,679 (実績)	H26.3	H26.10
宇部町久喜地区	東日本大震災津波により甚大な被害を受けた久喜地区の活動拠点となる避難施設の確保を図り、住民等の生命及び身体を保護することができる。	57,938 (実績)	H25.5	H25.12

4. 各地区における事業の経過状況

(1) 夏井駅前・大湊地区



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

(2) 久慈湊・大崎地区 (津波避難施設)



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

久慈湊・大崎地区 (津波避難タワー)



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

(3) 長内町元木沢地区



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

(4) 宇部町久喜地区



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

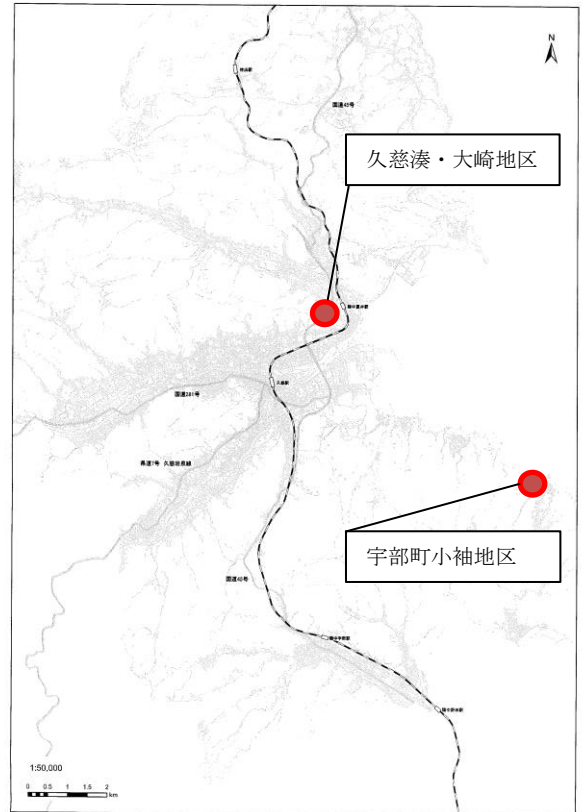
事業名	避難路整備事業
------------	----------------

1. 事業目的

津波により甚大な被害を受けた次の地区について津波対応避難場所を結ぶ避難路の整備を実施する。

具体的には、関係機関と調整し避難路の整備を行い、かつ、夜間にも迅速かつ安全に避難できるよう避難誘導灯の整備を併せて実施する。

2. 事業位置図



3. 事業概要

地区名	地区概要等	事業費 (千円)	工事期間	
			着手	完了
久慈湊・大崎地区	甚大な被害を受けた久慈湊・大崎地区から津波対応避難場所への避難路の整備を行うことにより、災害発生時において避難者が迅速かつ安全に避難することが可能となり、住民等の生命及び身体を保護することができる。	41,873 (実績)	H25.12	H26.6
宇部町小袖地区	東日本大震災の津波により全壊した小袖海女センターの復旧に伴い、観光客の増加が見込まれることから、今後の津波襲来時において、地元住民や観光客の生命を守るため、漁港から高台へ直接避難出来る避難路を整備するものである。	34,592 (実績)	H26.1	H26.7

4. 各地区における事業の経過状況

(1) 久慈湊・大崎地区



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

(2) 宇部町小袖地区



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

事業名	避難道路整備事業
------------	-----------------

1. 事業目的

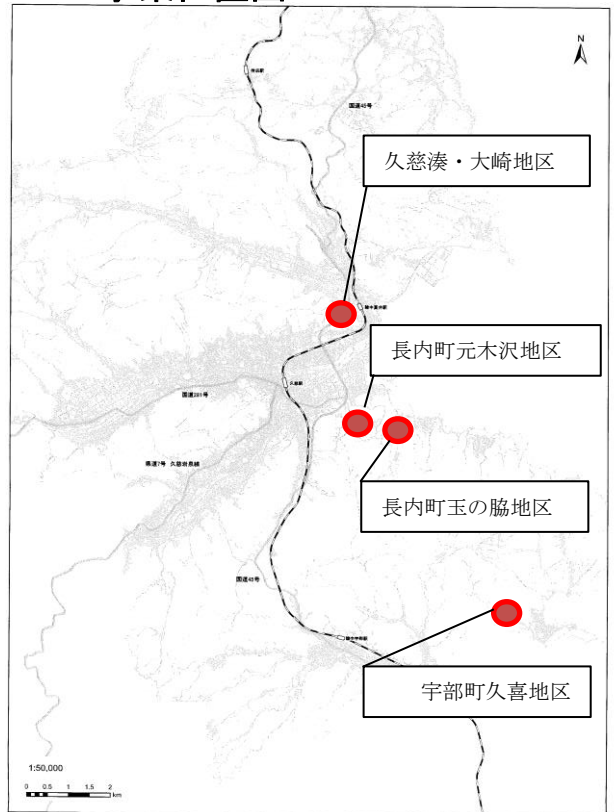
東日本大震災津波により甚大な被害を受けた地区の集団移転に伴う移転場所へのアクセス道路及び避難道路の整備を行い、新たな住宅団地へのアクセス経路、また災害時の孤立化の解消及び避難経路としての交通の円滑化及び安全を確保することを目的とする。

【内容】

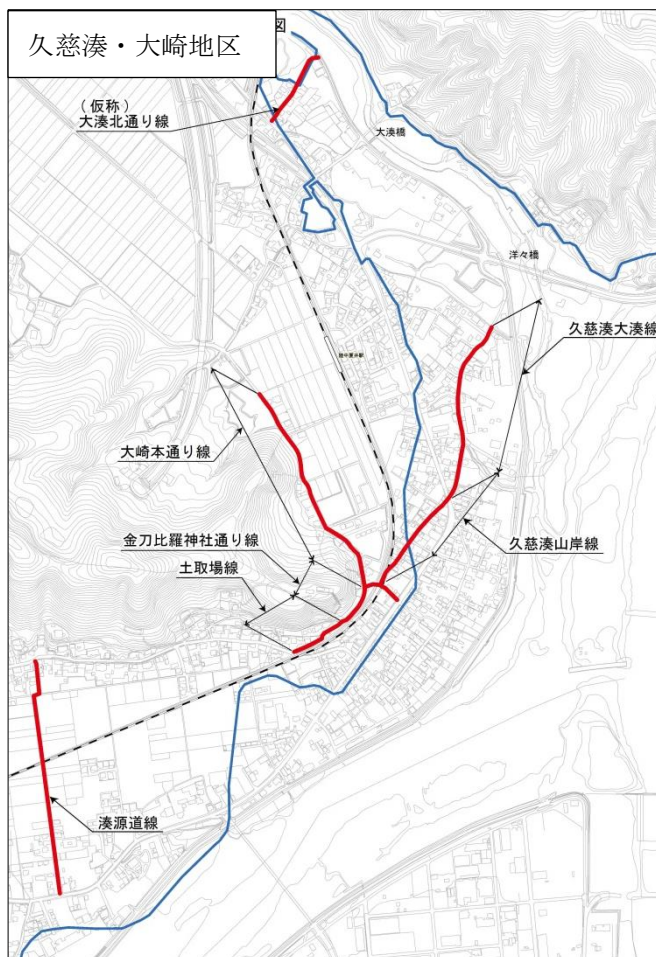
以下、市道 13 路線の新設または道路改良

- 大崎本通り線
- 金刀比羅神社通り線
- 土取場線
- 久慈湊山岸線
- 久慈湊大湊線
- 湊源道線
- 仮称大湊北通り線
- 浜田線
- 仮称長小通り 2 号線
- 玉の脇線
- 仮称玉の脇団地 3 号線
- 中沢線
- 仮称中沢 2 号線

2. 事業位置図



3. 整備する路線の位置



4. 事業概要

路線名	整備概要等	事業費 (千円)	工事期間	
			着手	完了
大崎本通り線	市道大崎本通り線道路改築 L=539m	275,575 (配分額)	H25.11	H29.3
金刀比羅神社 通り線	市道金刀比羅神社通り線道路改築 L=103m	64,964 (配分額)	H27.11	H29.3
土取場線	市道土取場線道路改築 L=126m	98,000 (配分額)	H27.11	H30.3 (予定)
久慈湊山岸線	市道久慈湊山岸線道路改築 L=228m	50,241 (配分額)	H25.10	H29.3
久慈湊大湊線	市道久慈湊大湊線道路改築 L=239m	61,4788 (実績)	H25.10	H27.11
湊源道線	市道湊源道線道路改築 L=499m	186,197 (実績)	H25.9	H27.3
仮称 大湊北通り線	道路新設 L=155m	59,600 (配分額)	H25.11	H30.3 (予定)
浜田線	市道浜田線道路改築 L=444m	103,091 (実績)	H25.6	H26.8
仮称 長小通り2号線	道路新設 L=415m	78,165 (実績)	H25.10	H26.12
玉の脇線	市道玉の脇線道路改築 L=280m	45,581 (実績)	H27.2	H28.3
仮称 玉の脇団地3号線	道路(橋梁)新設 L=65m	96,464 (実績)	H27.2	H28.3
中沢線	市道中沢線道路改築 L=375m	58,982 (実績)	H25.9	H26.9
仮称 中沢2号線	道路(橋梁)新設 L=439m	287,909 (実績)	H25.10	H29.3

5. 各路線における事業の経過状況 (1/4)

(1) 大崎本通り線



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

(2) 金刀比羅神社通り線



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

(3) 土取場線



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

(4) 久慈湊山岸線



(事前着工前)



(事業途中)



(事業完了)

5. 各路線における事業の経過状況 (2/4)

(5) 久慈湊大湊線



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

(6) 湊源道線



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

(7) 仮称大湊北通り線



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

(8) 浜田線



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

5. 各路線における事業の経過状況 (3/4)

(9) 長小通り2号線



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

(10) 玉の脇線



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

(11) 仮称玉の脇団地3号線



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

(12) 中沢線



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

5. 各路線における事業の経過状況 (4/4)

(13) 仮称中沢2号線



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

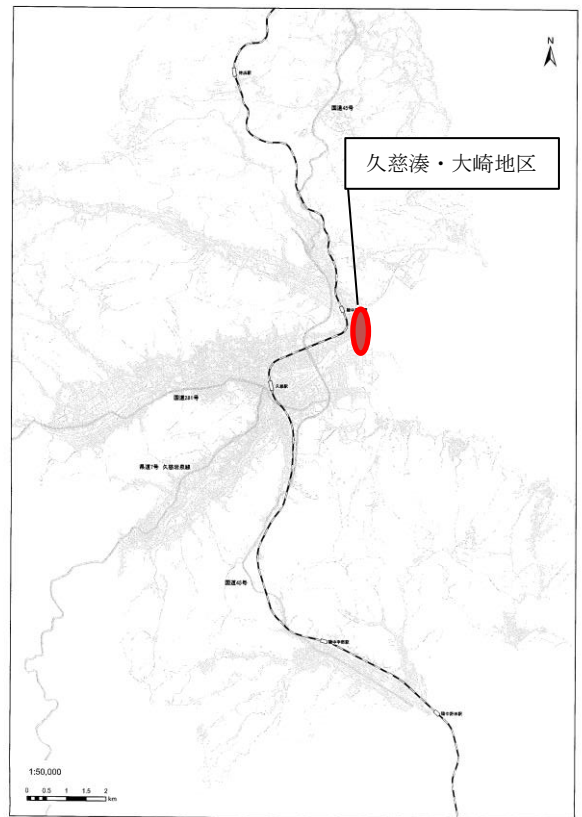
事業名	久慈湊漁港海岸防潮堤災害復旧事業
------------	-------------------------

1. 事業目的

久慈湊・夏井地区は、海岸付近まで住宅が密集している地区であり、東日本大震災による津波により多くの住宅が甚大な被害を受けた。

津波により損壊した防潮堤を、以前よりも津波に対して強度を持たせた構造とし復旧させる。

2. 事業位置図



3. 事業概要

地区名	施設概要等	事業費 (千円)	工事期間	
			着手	完了
久慈湊・大崎地区	○久慈湊漁港海岸防潮堤の復旧 L=1,239.2m、T. P. =8.0m ○水門改良（6基を4基に集約して整備）	2,044,005	H25.7	H29.3

4. 事業の経過状況

久慈湊漁港海岸防潮堤



事業名	小袖漁港海岸防潮堤災害復旧事業
------------	------------------------

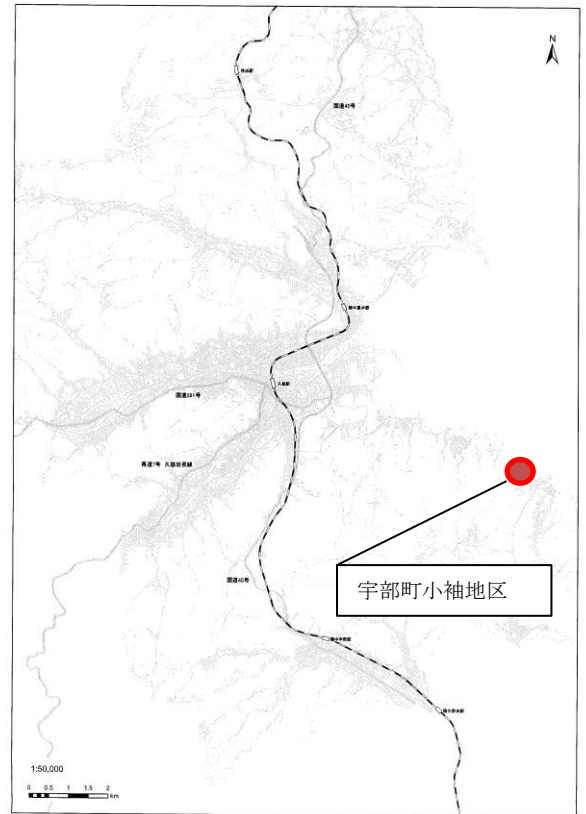
1. 事業目的

小袖地区は、防潮堤背後に準公共施設である久慈市漁協支所及び郵便局等があり、東日本大震災では地震により施設が平均0.3mの沈下し、また津波により水門上屋や陸閘が損壊するなどの被害を受けた。

地震により沈下した防潮堤について、約2.3mの嵩上げを行うことで岩手県において設定された T.P. 12.0mの計画高を満足し、かつ津波に対して所要の強度を持たせた構造として復旧させる。

また、防潮堤の嵩上げに伴い、既設水門及び陸閘についても同計画高及び構造として復旧しようとするものである。

2. 事業位置図



3. 事業概要

地区名	地区概要等	事業費 (千円)	工事期間	
			着手	完了
宇部町小袖地区	<ul style="list-style-type: none"> ○小袖漁港海岸防潮堤の復旧 L=290.2m、T. P. =12.0m ○水門1基整備 ○陸閘1基整備 	705,982	H26.3	H28.5

4. 事業の経過状況

小袖漁港海岸防潮堤



事業名	久慈港諏訪下防潮堤（県事業）
------------	-----------------------

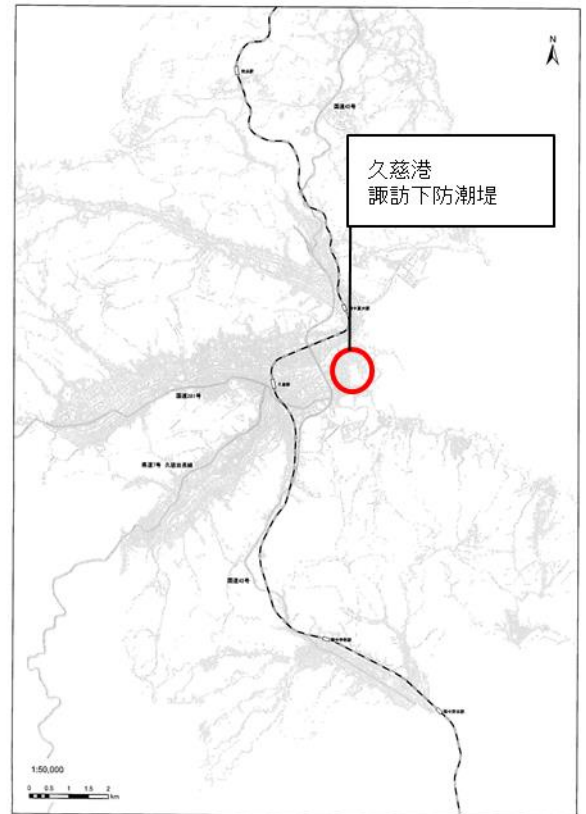
1. 事業目的

東日本大震災による広域地盤沈下及び越水の影響により、久慈港諏訪下防潮堤の背後地に重大な被害が生じたことから、既設防潮堤を約1m嵩上げ〔計画天端高T P（※）. 8.0m〕し、数十年～百数十年に一度の津波に対する安全性の確保を図るものである。

また、既設防潮堤の嵩上げに伴い、陸閘のサイズが変わることから、既設陸閘の改修を行うとともに、陸閘閉鎖時における消防団等の安全を確保するため、陸閘の遠隔操作化を図るものである。

（※ T P : 東京湾平均海面）

2. 事業位置図



3. 事業概要

施設名	施設概要等	事業費 (千円)	工事期間	
			着手	完了
諏訪下防潮堤	防潮堤嵩上げ L=2.5km 陸閘改修 N=12→10門（廃止1、乗越道路化1） ※遠隔監視制御設備は除く（別途対応） 災害復旧事業	2,000,000	H25.3	H28.3

4. 事業の経過状況

諏訪下防潮堤



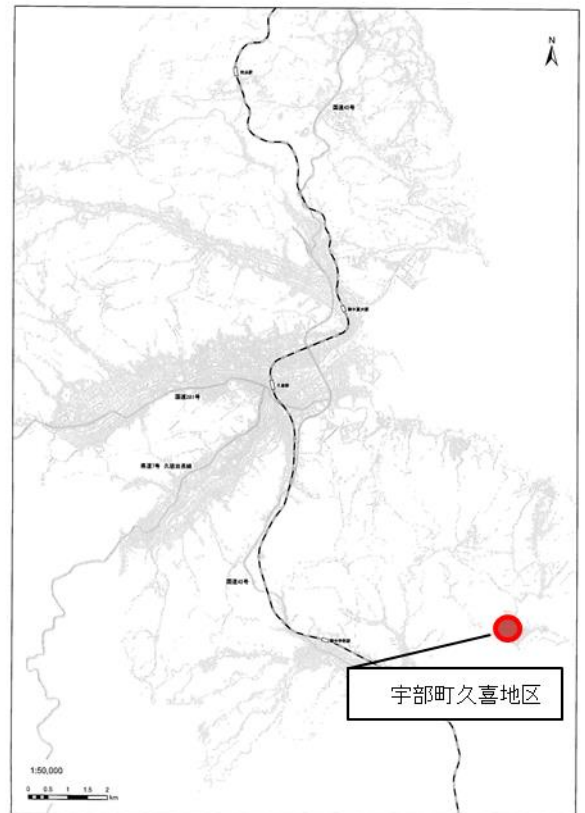
事業名	久喜防潮堤（県事業）
------------	-------------------

1. 事業目的

東日本大震災による広域地盤沈下及び越水の影響により、久喜漁港海岸防潮堤の背後地に重大な被害が生じたことから、既設防潮堤を約2m嵩上げ〔計画天端高TP（※）：14.0m〕し、数十年から百数十年に一度程度の発生頻度で来襲する津波に対して安全性を確保するものである。

また、陸閘等の閉鎖作業時において、消防団員等の安全を確保するため、陸閘の遠隔操作化及び水門のフラップゲート化を図るものである。

2. 事業位置図



3. 事業概要

施設名	施設概要等	事業費 (千円)	工事期間	
			着手	完了
久喜防潮堤	防潮堤 L = 562m 水門 2 基、門扉 4 基 災害復旧事業、農山漁村地域整備交付金	827,900	H25.3	H29.3

4. 事業の経過状況

久喜防潮堤



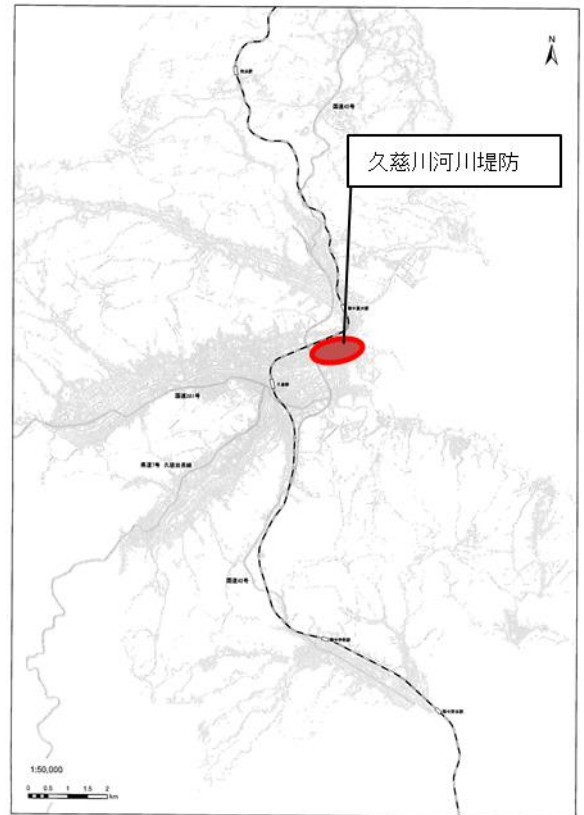
事業名	久慈川河川堤防（県事業）
------------	---------------------

1. 事業目的

東日本大震災による津波で県内の死者が 4 千人を超えるなど甚大な被害を受けたことから、津波対策の早期確立が重要課題となっている。

新たに見直した計画に基づき、二級河川久慈川の津波対策として T.P+7.0m から T.P+8.0m に河川堤防の嵩上げを行うことにより、発生頻度の高い津波に対する安全性が確保され、また、発生頻度の低い最大クラスの津波に対して粘り強い構造とするものである。

2. 事業位置図



3. 事業概要

施設名	施設概要等	事業費 (千円)	工事期間	
			着手	完了
久慈川 河川堤防	河川堤防 L=2km (左岸 0.8km、右岸 1.2 km) 橋梁架替 N=1 橋 三陸高潮対策事業 社会資本整備総合交付金 (復興枠)	14,290,000	H23.11	H33.3 (予定)

4. 各地区における事業の経過状況

久慈川河川堤防



(事業着工前)

➡



(事業途中)

➡



(事業完了)

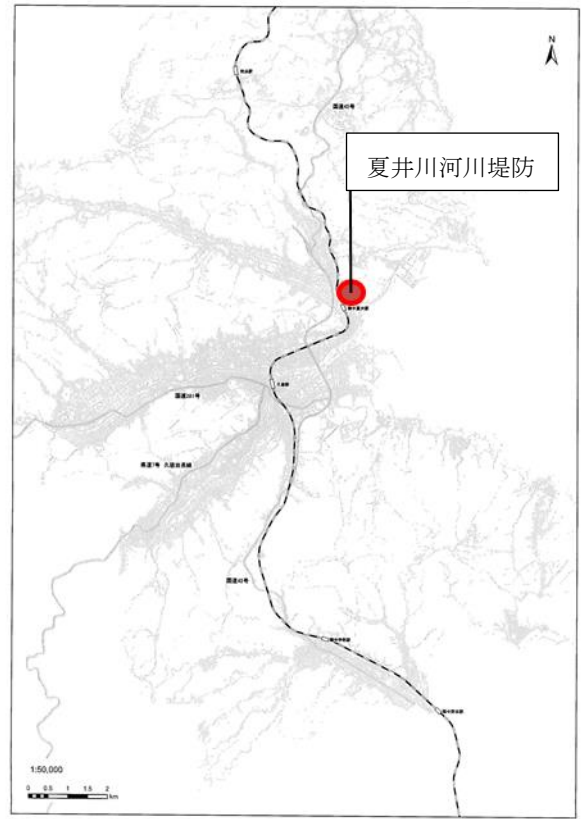
事業名	夏井川河川堤防（県事業）
------------	---------------------

1. 事業目的

東日本大震災による津波で県内の死者が 4 千人を超えるなど甚大な被害を受けたことから、津波対策の早期確立が重要課題となっている。

新たな計画に基づき、二級河川夏井川の津波対策として、右岸の堤防を T.P+8.0m に嵩上げすることにより、発生頻度の高い津波に対する安全性が確保され、また、発生頻度の低い最大クラスの津波に対して粘り強い構造とするものである。

2. 事業位置図



3. 事業概要

施設名	施設概要等	事業費 (千円)	工事期間	
			着手	完了
夏井川河川堤防	河川堤防 L=0.8km (右岸 0.8 km) 橋梁架替 N=1 橋 三陸高潮対策事業 社会資本整備総合交付金 (復興枠)	4,000,000	H23.11	H32.3 (予定)

4. 事業の経過状況

夏井川河川堤防



(事業着工前)

➔



(事業途中)

➔



(事業完了)

事業名	県道野田長内線道路改築（県事業）
------------	-------------------------

1. 事業目的

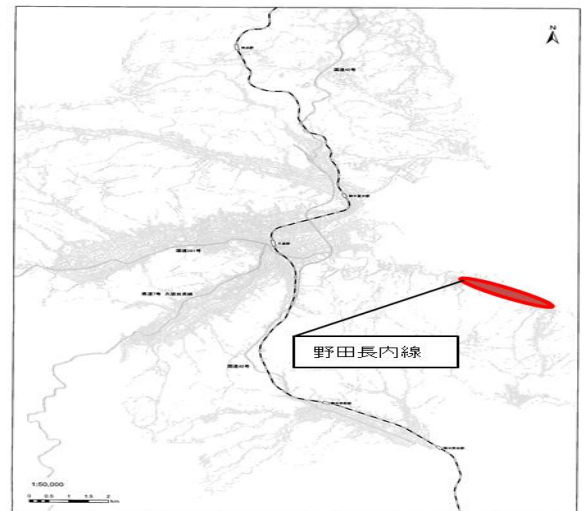
東日本大震災で被災した県道 268 号、一般県道野田長内線（小袖大尻海岸線）の小袖～大尻間で、県が道路整備事業を進めている。

平成 30 年 7 月 31 日までの間、片側交互通行規制のもと、道路幅が狭い 3 区間の拡幅工事を行うこととしている。

道路幅を広げる事業では、平成 22 年度より、小袖漁港から大尻漁港までの間の工事を全 17 の区間に分けて計画しており、平成 29 年度までに完了した工事により、計 9 区間が完成したことになる。

これらの場所以外にも、道路幅の狭い区間がまだ多数残っており、今後も可能な限り道路幅を広げるため、事業を継続していく。

2. 事業位置図



3. 事業概要

路線名	概要等	事業費 (千円)	事業期間	
			着手	完了
県道 野田長内線	道路改築 L = 3 km 地域自主戦略交付金 社会資本整備総合交付金（復興枠） 災害復旧事業	880,000 (災害復旧を除く)	H23.3	H33.3 (予定)

4. 事業の経過状況

県道野田長内線



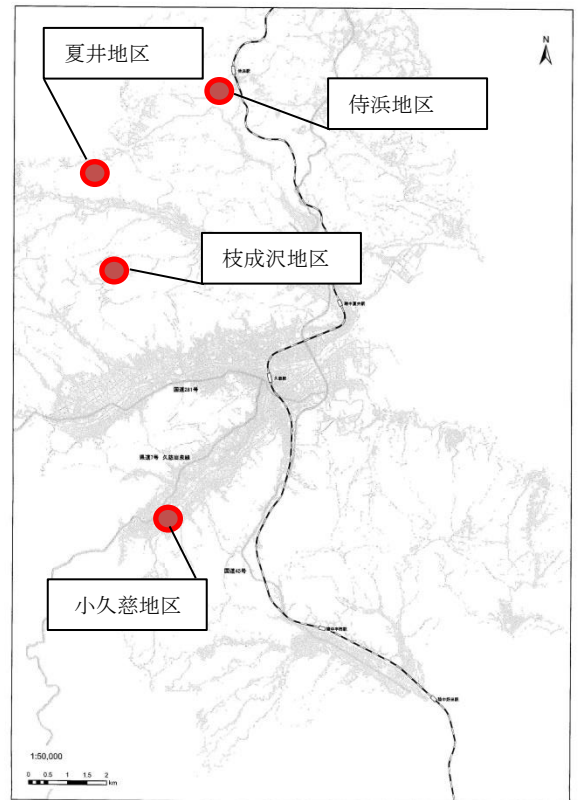
事業名	大規模太陽光発電施設整備（民間事業）
------------	---------------------------

1. 事業目的

東日本大震災を受けて民間事業者では、メガソーラー発電の導入に対する地域のニーズに迅速に応えることで、地域の復興支援、地域振興に貢献していくという観点から発電施設整備を進める動きが活発となっている。

その中で、メガソーラー発電に適した日照条件に恵まれた当市を施設設置場所として選定いただき、震災からの復興を目指し再生可能エネルギーの早期導入を図る。

2. 事業位置図



3. 事業概要

地区名	施設概要等	事業費 (千円)	工事期間	
			着手	完了
枝成沢地区	事業者：東北自然エネルギー株式会社 敷地面積：約 3.5ha 供用開始：平成 25 年 9 月 11 日稼働 出力：1,430kW 発電量：年間 約 150 万 kWh/年 (一般家庭約 450 世帯分の年間使用量に相当)	約 500,000	H25.3	H25.9
小久慈地区	事業者：北三陸再生可能エネルギー株式会社 敷地面積：約 2.6ha 供用開始：平成 26 年 9 月 26 日稼働 出力：1,360kW 発電量：年間 約 140 万 kWh/年 (一般家庭約 400 世帯分の年間使用量に相当)	約 420,000	H26.4	H26.9
夏井地区	事業者：株式会社ケーユージェーインダストリー 敷地面積：約 3.1ha 供用開始：平成 27 年 12 月 14 日稼働 出力：1,990kW 発電量：年間 約 210 万 kWh/年 (一般家庭約 600 世帯分の年間使用量に相当)	約 626,000	H27.3	H27.12
侍浜地区	事業者：未来創造侍浜合同会社 敷地面積：約 47ha 供用開始：平成 31 年 11 月を予定 出力：12,000kW 発電量：年間 約 1,400 万 kWh/年 (一般家庭約 4,000 世帯分の年間使用量に相当)	—	H29.4	H31.10 を予定

4. 事業の経過状況

枝成沢地区大規模太陽光発電施設



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

小久慈地区大規模太陽光発電施設



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)

夏井地区大規模太陽光発電施設



(事業着工前)



(事業途中)



(事業完了)